

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	6月 11日 (火)
コーポラティブハウス部会	6月 19日 (水)
団地・マンション再生部会	6月 17日 (月)
人と暮らし部会	6月 18日 (火)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

★プロジェクトニュース★

・コーポラティブハウス羽根木公園

引き続き参加者を募集しておりますので、お知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

人と暮らし部会より

5月23日(木)にケアタウン小平へ視察訪問しました(詳しくは次号にて報告します。)



・けやきガーデン奥沢入居パーティ

竣工引渡しは昨年(2012)の12/20でしたが、その後も残工事があり、入居者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしていましたが、工事も一段落という区切りを付けるべく、3/30(土)に入居パーティを行いました。

当日は、イベント委員会のリードで、パーティは進行、恒例の1分間スピーチでは、建設組合から長いお付き合いをしていることで、顔見知りだという安心感のもと、皆さんがそれぞれ奥沢での暮らしを楽しんでいるようでした。



としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
というような難しいご相談も検討します。
お気軽にご相談ください。

編集後記

3面に記事となっておりますが、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会が発行する「まちづくり通信」と発行期日が重なり、「おいらのまち」の発行が後回しに…。言い訳をしまい申し訳ありません。

「おいらのまち」も「まちづくり通信」にも言えるのですが、自分に余裕がない時に作業をすると、皆さんからのチェックバックが激しいものに。わかってはいるのですが、なぜか間際にならないとエンジンがかからない…慣れと言うのは恐ろしいです。今後も気を引き締めて、余裕をもって取り組みたいと思っ
(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 64人 賛助会員 33人
編集発行人 平石郁夫
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第63号

おいらのまち

2013.5

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

としまち研第13回総会開催さる

5月23日(木)、としまち研の第13回定期総会が開催されました。みんなでつくり、支えて…“よくここまで続いた”というのが率直な感想です。ひとえに皆さまのお蔭と深く感謝しております。

さて、総会では、各部会等の活動報告、活動方針の発表がありましたが、いずれも積極的な内容となっています。主なものを列挙しますと、以下の内容が目立ちます。

- ① 共同建替え部会では、密集市街地での共同化や大規模な共同建替え事業にも前向きに取り組む。
- ② コーポラティブハウス部会では、通常の見直しに加えて、“出版”が取り組み方針となる。
- ③ 団地・マンション再生部会では、マンションの大規模修繕コンサルティングやマンション建替え事業など、取り組み体制の増強をする。
- ④ 人と暮らし部会では、東松島市での災害公営住宅の分野への協力を進める。
- ⑤ 広報部会では、“おいらのまち”の定期発行と“としまち研パンフ”の早期改訂を行う。
- ⑥ 総務部会では、例年の活動に加えて、復興支援に関連した公開勉強会の企画をする。

また、東日本大震災復興支援委員会は、東松島市からの委託で、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の支援をしていますが、今年度は、*誰がどの宅地に入るかを区画決定手順に従って決める、*「世界に誇れる新しいまち」の街並みルールづくりを行う、などが前半の重点項目になります。また、それら協議会の取り組みを会員に伝える「まちづくり通信」の発行なども重要な課題です。

今年度も設立趣旨である“高齢者や障害のある人にとっても、安全で快適、かつ、個性ある都市住宅の供給と暮らしやすい地域コミュニティの構築と再生をめざす”活動に取り組んでいきたいと思っております。

「おいらのまち」を読んでいただいている皆さまに、としまち研という「不思議な組織」、「素敵な組織」を引き続き、守り、育てていただけることをお願いして、第13回総会の報告とさせていただきます。

(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『強引な贈り物は蜜の味』としまち研 石坂堅志

11月、車を止め、両親が住んでいた家の玄関へ向かう途中、野菜を育てていた畑に何かが見えた。近づいてみると、畝も作らず間隔もバラバラに細いネギのようなものが植えてあった。これは何?誰が?それにしてもなんて強引な植え方。その後は時々水をあげてみたりしたが12月が過ぎても様子は変わらず細くひ弱なままだった。正月、近くにある母親の実家に顔を出しその話をすると、ニヤッと笑う人がいた。従妹のMちゃんだった。彼女も高齢になった両親のため実家に戻り、週末だけ夫のいる東京のマンションへ通う生活をしながら、広い実家の庭で野菜作りを始めていた。

玉ねぎは3月になると急に苗が大きくなり、土の中でも何かが蠢いているように感じられた。上の部分が見えてくると土をかけたか試してみた。5月頃2~3株持ち帰り食べてみるとまるで梨のように甘く瑞々しかった。その美味しさに魅せられて次の年から一生懸命育ててみたところ、生で食べると辛くツンとした匂いの普通の玉ねぎができた。次の年もまたその次の年も同じだった。その後もずっとあの梨のような蜜の味の玉ねぎは出来ていない。それでもなぜか野菜を作ることがうれしくて今年も夏の野菜を植えた。



※次号の『ひとりごと』は阿部久美子さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です）

★第212回一木会（2013. 4. 4）

（株）時事通信社の宗澤寛氏に「素顔の中国人」というテーマで、宗澤氏の3年に及ぶ中国滞在中の中国人との交流体験を率直にお話いただきました。

1月の宮内氏の話しとはまた異なり、中国人の国民性、習慣など、人々の暮らしの分りが分かることも楽しいお話でした。

これからも諸外国とはいろいろな課題があるものと思われませんが、国と国というより、人と人のお付き合いとして円満な将来関係を望みたいものです。



★第213回一木会（2013. 5. 16）

昨年10月1日にランド・オープンした東京駅丸の内駅舎の保存・復元・活用のプロジェクトの設計に携わられた（株）ジェイアール東日本建築設計事務所の田原氏に、重要文化財を豊かに使い続けるという視点からお話をいただきました。

東京駅丸の内駅舎は、2003年に重要文化財に指定された時点から、日本における重要文化財の保存活用の新たな時代を切り開くパイオニアとしての役割を期待され、オープン8ヶ月その役割を十分に果たしています。



今後の一木会予定

★6月（6月6日）【第214回一木会】★

（株）アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ 代表取締役 平山正義 氏

「密集市街地における修復型まちづくり～横浜市神奈川区浦島町での取り組みから～」

★7月（7月4日（予定））【第215回一木会】★

NPO 景観デザイン支援機構 副代表理事 八木健一 氏 「景観法と景観アドバイザーの仕事」

東矢本駅北地区まちづくり整備協議会：広報部会

としまち研は、協議会の事務局を担当しており、昨年度は、平成24年11月から7号分（創刊準備号を含む）の「東矢本駅北地区まちづくり通信」の発行のお手伝いをしています。

各種会議やイベントなどの情報や結果などを、写真とともに読みやすいように掲載した原案を、協議会役員・広報部会員の4人のたくましいお母さん方に揉まれながら編集をし、随時、600世帯余の協議会会員の皆さまに送り届けています。

体裁は、どうも「おいらのまち」似ですが、協議会の会員のご自宅を訪問した時など「まちづくり通信、読んでるよ。」などと言われることも嬉しいものです。市民組織における広報活動の重要性に思いを馳せながら、「継続は力なり」と信じて取り組んでいます。

（としまち研事務局 飛澤玲奈）



広報部会内での1コマ

ジークレフ駒場マンション建替組合が設立されました！

数年来、としまち研で建替えの検討をお手伝いしてきたジークレフ駒場（渋谷区）で、先月、マンション建替組合が設立されました。この事業は9戸を23戸に建替える小さなマンション建替えて、従前の区分所有者全員が権利変換を受け、再入居します。再入居以外の住戸は、参加組合員となる一般財団法人首都圏不燃建築公社が取得し、分譲します。

渋谷区の設立認可が下りた直後の4月14日に、設立総会と設立パーティを開催しました。少人数でとても風通しの良い組合ですが、こういった懇親会は初めてということで、設立総会で選任されたイベント委員の方が早速司会を務め、大変盛り上がりしました。権利変換と仮住まい探しが目下の課題となりますが、一步一步着実に進めていければと思います。

（としまち研理事 宮本愛）



懇親会の様子

コーポラティブハウス羽根木公園建設組合が設立されました！

去る4月6日（土）14時から、計画地のバリエスタジオにて建設組合設立総会が開催されました。まず、組合契約書へ署名・捺印を行い建設組合が設立されると、理事3名が選任されて、すぐ会場の片隅で理事会を開催して理事長・副理事長・会計担当理事を互選、総会を再開して報告と挨拶が行われると大きな拍手がわき上がりました。

そのほか、インフィル設計担当者の紹介、各種委員会の設置や事業スケジュールの説明などが行われました。



初めての懇親会



設立総会の様子

総会終了後、東松原商店街のスーパーや酒屋さんでオードブルや飲物を調達し、初めての懇親会を行いました。としまち研恒例の1分間スピーチは、夕方から荒天が心配されていたため“30秒間”となりましたが、皆さんから本事業に参加されたきっかけや意気込みなどをお話いただきました。盛り上がりきたところ名残惜しくはありましたが中締めとなりました。

さっそく、その翌日から住戸内の設計打合せがスタートし、同じバリエスタジオ内で毎回熱心な打合せが続いています。あと数戸募集中ですので、世田谷区周辺で住まいをお探しの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

（としまち研事務局 関 真弓）

4年ぶりの神田祭

去る5月11日（土）、12日（日）、一昨年の東日本大震災で中止となった神田祭が4年ぶりに行われました。

お祭りの中心は、どうしても御神輿の巡行です。しかし、その前段の準備が一仕事で、案外知られていません。かくいう小生も、真面目に準備や片付けに参加したのは初めてかもしれません。

10日（金）の朝から大小の御神輿・太鼓の山車・桃太郎人形の山車・神酒所の造作などを柳森神社の神輿蔵から出し、各種準備をお願いしている鳶の頭（かしら）の指揮のもと、みんなでああでもない、こうでもない言いながら、何とか形になり、翌日からはじまるお祭りの準備が完了しました。夕方からは、準備に参加した人、仕事帰りの人など神酒所前のテントで「宵宮（よみみや）という前夜祭を行いました。

11日（土）は、朝から御神輿への「御霊入れ」（みたま入れ）。雨模様でしたが、氏神様である柳森神社の宮司による神事が行われました。その後、雨の中を神輿巡行、神田須田町二丁目及び岩本町三丁目の御神輿の3台による連合渡御（とぎょ）、子ども神輿も雨のなかをがんばりました。

12日（日）は朝から気持ちの良い五月晴れ。まずは、柳森神社に宮入。宮司によるお祓いを受けた後、柳森神社を背にして、総勢約80名で記念撮影をしました。その後、神田駅東地区連合町会（9町会）による連合渡御。東松下町以外の8町会は神田明神が氏神様なので、我々の御神輿は須田町交差点から右折し、町内に戻ってお屋となりました。女性部を中心として朝早くから準備をしていた模擬店で、焼きそばやフランクフルト、箱寿司をもらい、それぞれ昼食。午後町内を巡行して、数か所で給与・給水を受けました。COMS HOUSE 付近での給与・給水では、としまち研から「おいらのまち」今号の“おいらのひとりごと”の執筆者である石坂さんの指揮のもと、海鮮チヂミを大量に焼いてふるまいました。

夕方には、女性部や青年部、役員や年配の方々も御神輿に肩を入れ、大いに盛り上がり、お祭りは終了しました。

その後すぐに片付け。これが大仕事でしたが、夕方6時ごろにはすべて終了。4年ぶりのお祭りが終わりました。

（としまち研理事長 杉山昇）



チヂミ係の石坂さんと杉山母娘



準備の様子



子どもたちががんばりました